

磐田市市税収納対策
第5期アクションプラン
(令和4年度～令和6年度)

令和4年8月
磐田市企画部収納課

目 次

1	アクションプランの策定にあたって	1
2	収納率・滞納繰越額の推移	1
3	第4期アクションプランの取組結果	4
4	第5期アクションプランの目標	4
5	目標達成に向けた取組	5

1 アクションプランの策定にあたって

本市では、市税収納率向上を目指して、平成20年10月に「磐田市市税収納対策第1期アクションプラン」を策定し、「STOP the 滞納」を決意に第4期アクションプラン（令和1年度～令和3年度）まで様々な取組を実施した。

第5期アクションプランでは、令和3年度実績を踏まえた目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを明記するとともに、公平・公正な徴収を推進し、収納率の向上と滞納繰越額の削減を図る。

2 収納率・滞納繰越額の推移

令和3年度の市税現年分収納率は、99.61%で、前年度と比較して、0.64ポイント上昇し、滞納繰越分収納率は、45.45%で、前年度と比較して、12.67ポイント上昇した。滞納繰越額は、3億6千万円で、前年度と比較して2億1千万円の減となっている。

令和3年度の国民健康保険税現年分収納率は、97.29%で、前年度と比較して、1.0ポイント上昇し、滞納繰越分収納率は、25.9%で、前年度と比較して、1.3ポイントの低下となっている。滞納繰越額は、3億6千万円で、前年度と比較して8千万円の減となっている。

(1) 収納率の推移

① 市税現年課税分収納率の推移 (単位：%)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
収納率	98.72	98.89	98.95	99.20	99.31	99.41	99.38	98.97	99.61

② 市税滞納繰越分収納率の推移 (単位：%)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
収納率	21.38	24.15	23.90	29.20	35.68	37.23	37.09	32.78	45.45

③ 国民健康保険税現年課税分収納率の推移 (単位：%)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
収納率	92.23	92.69	92.81	94.24	95.03	96.04	95.88	96.29	97.29

④ 国民健康保険税滞納繰越分収納率の推移 (単位：%)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
収納率	15.10	16.18	18.01	22.60	28.06	32.93	33.89	27.20	25.90

(2) 滞納繰越額（収入未済額）の推移

① 市税 (単位：億円)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
滞納繰越額	15.2	12.9	11.5	8.8	7.0	5.6	4.8	5.7	3.6

② 国民健康保険税

(単位：億円)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
滞納繰越額	14.6	13.4	12.2	10.1	8.3	6.4	5.2	4.4	3.6

【要因】

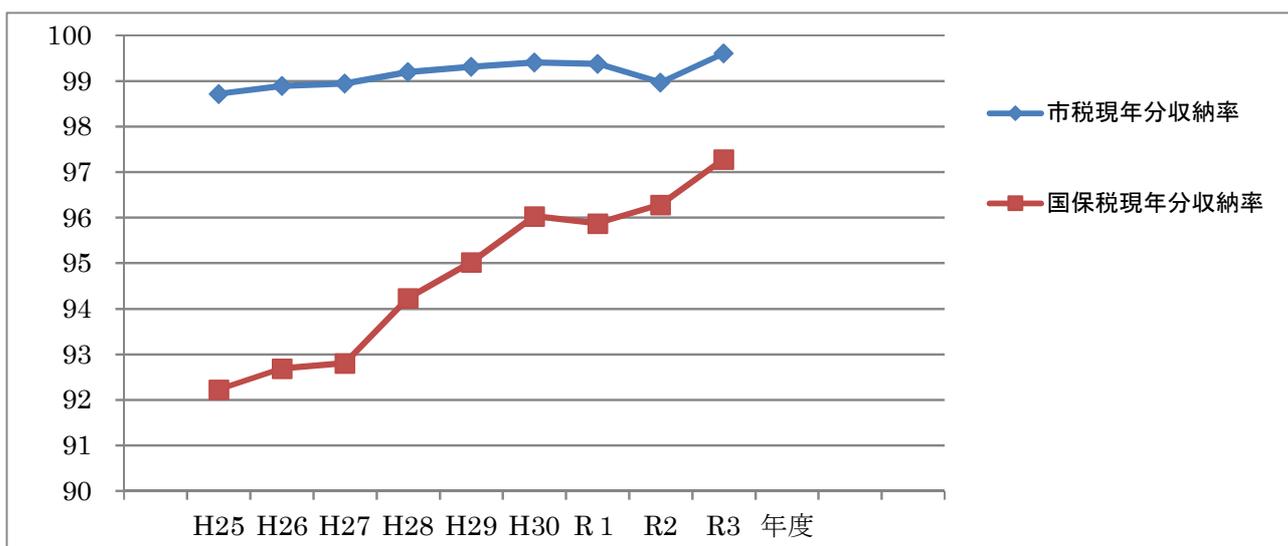
現年の滞納者に対し、早い段階での滞納処分を執行するなど早期着手に努めた結果、収納率の向上を図ることができた。

また、令和元年度に発生した「新型コロナウイルス感染症」は、令和2年度の経済や景気動向に大きな影響を及ぼした。令和3年度には、景気は持ち直しの動きがみられ、巣ごもり需要による消費動向の変化等により業績を伸ばしている業種もある。これらの経済状況が令和3年度の収納率や滞納繰越額に影響していることが推測される。

《収納率・収入未済額の推移》

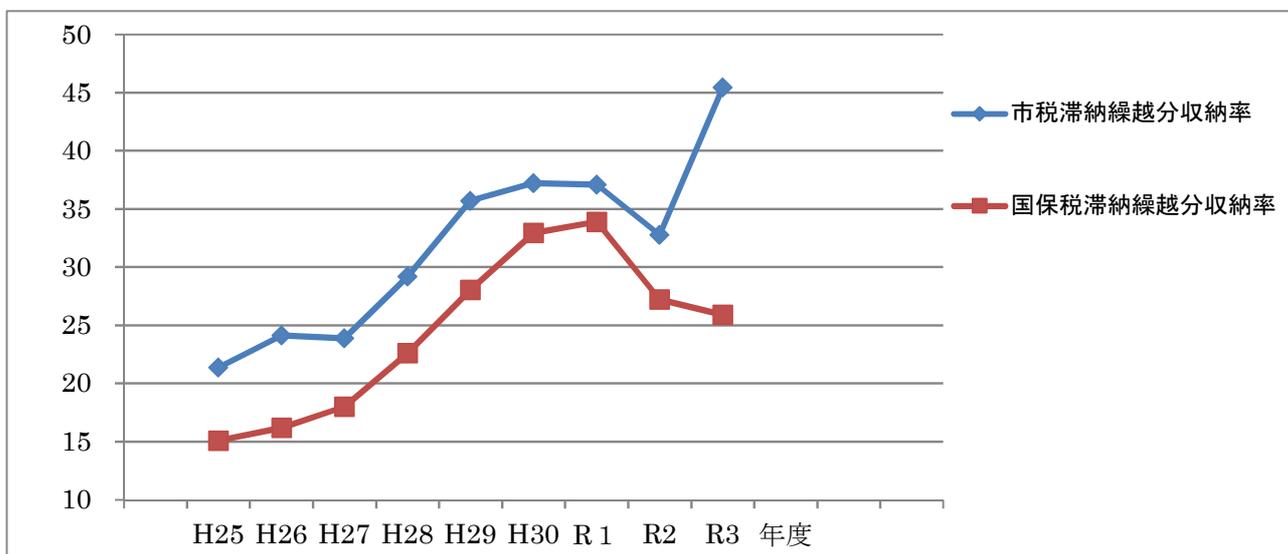
現年課税分収納率推移

(単位：%)



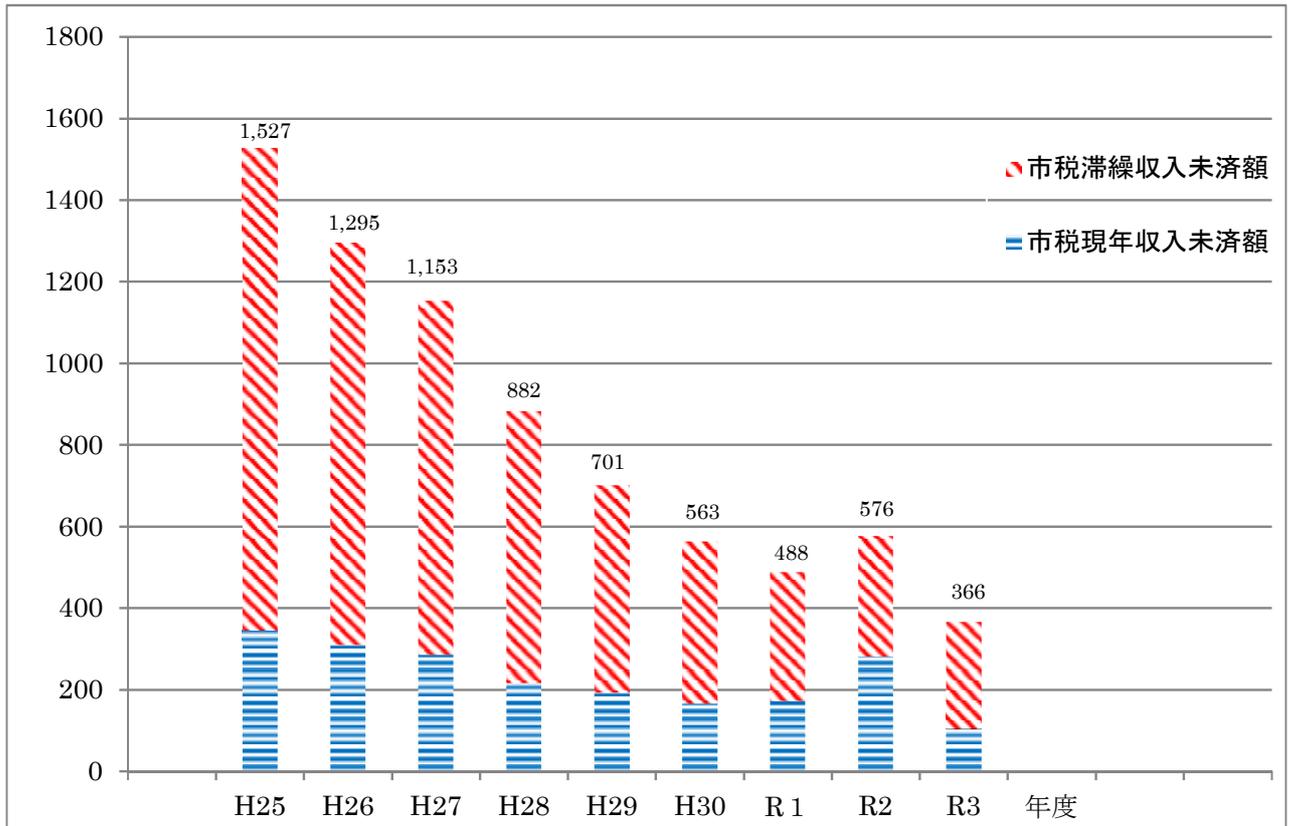
滞納繰越分収納率推移

(単位：%)



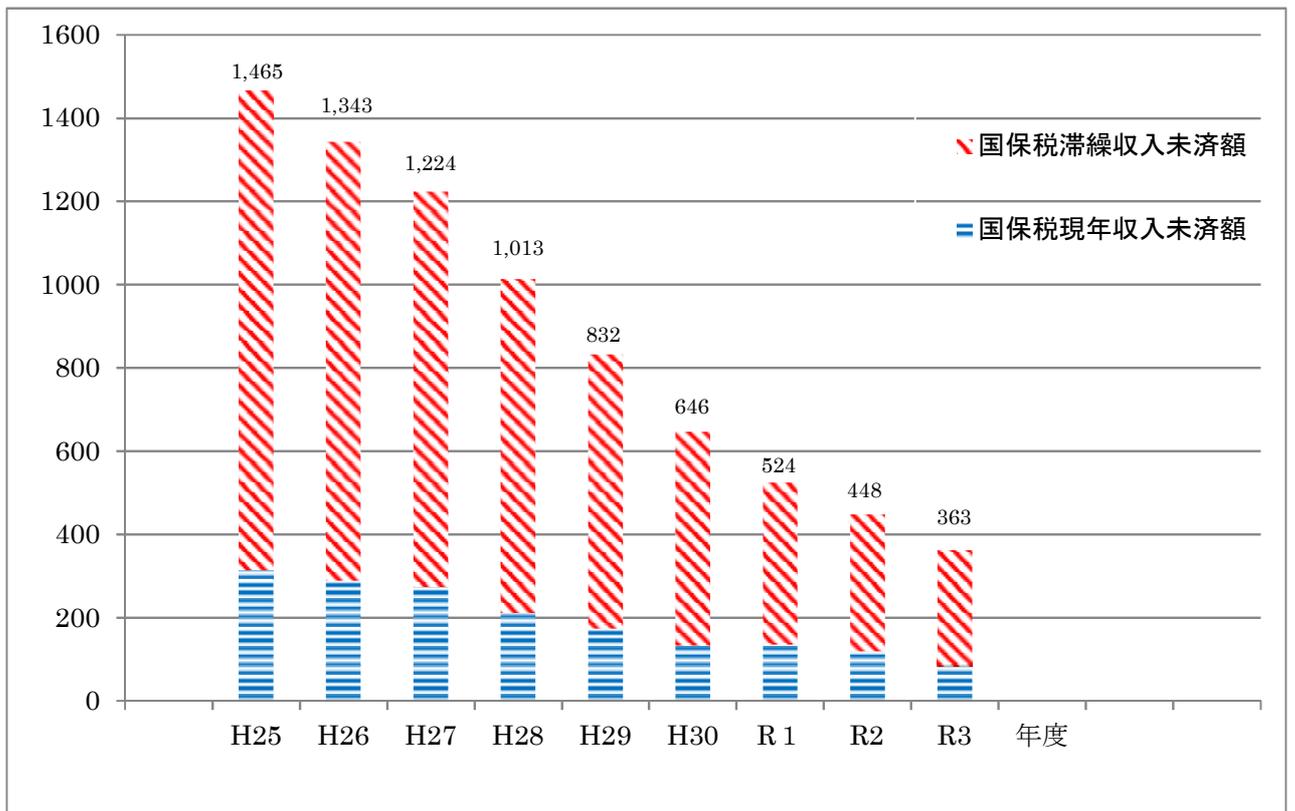
市税収入未済額の推移

(単位：百万円)



国民健康保険税収入未済額の推移

(単位：百万円)



3 第4期アクションプランの取組結果

(1) 計画の期間

令和元年度から令和3年度の3年間

(2) 目標の達成状況

市税（令和3年度）

項目	目標	実績
現年度課税分収納率	99.6%	99.6%
滞納繰越分収納率	40.0%	45.4%
滞納繰越額	4.0億円	3.6億円

■ 全ての項目において目標を達成した。

国民健康保険税（令和3年度）

項目	目標	実績
現年度課税分収納率	96.3%	97.2%
滞納繰越分収納率	35.0%	25.9%
滞納繰越額	5.0億円	3.6億円

■ 現年度課税分収納率・滞納繰越額は目標を達成したが、滞納繰越分収納率は目標を達成できなかった。

4 第5期アクションプランの目標

「第4期アクションプラン」までの取組が大きな成果を収めたことを受け、令和3年度実績を踏まえて、更なる収納率の向上と滞納繰越額の削減を目指して、目標値を設定する。

(1) 目標

市税（令和6年度）

項目	実績（令和3年度）	目標（令和6年度）
現年度課税分収納率	99.6%	99.7%
滞納繰越分収納率	45.4%	48.4%
滞納繰越額	3.6億円	2.4億円

国民健康保険税（令和6年度）

項目	実績（令和3年度）	目標（令和6年度）
現年度課税分収納率	97.2%	98.6%
滞納繰越分収納率	25.9%	28.9%
滞納繰越額	3.6億円	2.0億円

5 目標達成に向けた取組

- ◆ 現年度分滞納者への早期対応や納付環境の整備等により、現年度収納率の向上を図る。
- ◆ 適切な滞納整理により、滞納繰越額の削減を図る。
- ◆ 専門的知識及び経験値の向上に努め、人材育成の推進を図る。

(1) 滞納整理の推進

① 催告書の効果的な発送

催告書の文面や記載内容を工夫し、文書催告の効果を高める。

② 差押の執行

個別催告に反応がない者に対しては、財産調査を徹底して行い、速やかに差押を執行する。

③ 延滞金の適正徴収

納税者間の公平性を保つため、延滞金は地方税法に基づき適切に徴収する。延滞金を完全徴収することで納期限内納付の促進を図る。

④ 滞納処分の執行停止

滞納処分の執行停止の要件（地方税法第15条の7第1項各号及び5項）に該当するものは速やかに執行停止する。

⑤ 搜索の実施

滞納者の財産及び生活状況を調査するため、国税徴収法に基づき搜索による財産調査を実施する。搜索により押収した動産は、インターネット公売により売却し、その売却代金は市税に充当する。

⑥ 公売の実施

国税徴収法に基づく市税の滞納処分により滞納者から差押えた財産について、インターネット公売や期日公売を実施する。

(2) 納付環境の整備

口座振替の加入推進や納付方法の多様化により自主納付を推進する。

スマホ納付等のキャッシュレス決済の拡充や共通納税の税目拡大に対応し、納付環境を整備する。

(3) 職員のスキルアップ

滞納整理機構等の専門的研修に参加し、徴収業務に関する知識の習得や徴収技術の向上を図る。新たに収納課に配属された職員については、課内研修や課内での情報共有を図るなど、人材育成に努める。

(4) 県、静岡地方税滞納整理機構との連携

県や静岡地方税滞納整理機構との連携及び協力体制の強化を図り、効果的な滞納整理を進める。広域的な機動力、調査力を必要とする滞納事案について、静岡地方税滞納整理機構へ移管し、困難事案の解決を図る。

(5) 納税啓発

「税を考える週間」に合わせ、納税の大切さや税の理解を深めることを目的に小中学生から募集した税に関する作文、習字、ポスターなどの作品展示を行う。また、広報いわた及びLINE、いわたホッとライン等を利用して、毎月の納期限を案内する。市ホームページに、市税の納付方法や市税の収納状況等を掲載し、納税に対する理解や納税意識の高揚を図る。